

学修単位様式

科目名	情報処理実習Ⅱ	英語科目名	Information Processing Practice II		
開講年度・学期	平成27年度・前期	対象学科・専攻・学年	物質工学科4年		
授業形態	講義	必修 or 選択	必修		
単位数	1単位	単位種類	学修単位(30+15h)		
担当教員	笠原雅人	居室(もしくは所属)	電気電子創造工学科棟3階		
電話	0285-20-2263	E-mail	kasahara@小山高専ドメイン		
授業の到達目標	授業到達目標との対応				
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件		
プログラムの編集及びコンパイルと実行ができ、基本的な命令(入出力・演算命令・条件分岐・繰り返し・配列)を用いたプログラムを作成できる。		⑤	C	c	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法					
中間試験, 定期試験, レポートへのとりくみ状況によって評価する。					
評価方法					
主に中間試験および定期試験の平均点で評価する。					
授業内容	授業内容に対する自学自習項目			自学自習時間	
1. プログラムの編集及びコンパイルと実行	1-1の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
2. 変数の使い方	1-2の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
3. データの入力と出力 (printf, scanf)	1-3の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
4. 四則演算	変数の型に関して表にまとめ, 報告する。			4	
5. 論理演算	第2章の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
6. プログラムの分岐 (if)	3-1の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
7. プログラムの分岐 (switch)	3-2の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
8. 中間試験	入出力の関数におけるフォーマットに関して報告する。			4	
9. 繰り返し (do)	4-1の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
10. 繰り返し (while)	4-2の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
11. 繰り返し (for)	4-3の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
12. 多重ループ	4-4の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
13. 配列と for 文	5-1の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
14. 配列の操作 (初期化, コピー, 演算)	5-2の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
15. 多次元配列	5-3の例題を打ち込み動作確認の結果を報告する。			4	
期末試験・試験返却					
				自学自習時間合計	60
キーワード	プログラミング, アルゴリズム, C 言語				
教科書	新版 明解 C 言語 入門編				
参考書	1. 石畑清「アルゴリズムとデータ構造」岩波書店 2. 奥村晴彦「C 言語による最新アルゴリズム事典」技術評論社 3. 林晴彦「C 言語による実用アルゴリズム入門」ソフトパブリッシング				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目	情報処理実習 I				
現学年の関連科目					
次年度以降の関連科目					
連絡事項					
例題の動作確認を確実にし、余裕があれば演習問題を理解すること。					
シラバス作成年月日	2015-02-25				